



砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

担当課長名 : 金山 壮一郎

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好郡東みよし町	箇所名	五名(2)地すべり防止区域		
事業概要					
横ボーリング工 L=4,420m					
事業の目的・必要性					
<p>当区域においては、市道擁壁の変状やクラックなど地すべり兆候が多数見受けられ、人家19戸及び主要地方道550mなどに被害を及ぼす恐れがあり、早期の対策が必要であった。</p> <p>このため、平成23年から地すべり対策事業を再開し、地下水を排除する抑制工を実施し、国土の保全及び民生の安定を図る。</p>					
総事業費		188百万円			
事業概要図・写真					
 <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費180百万円→精算全体事業費188百万円 計画工期H23～H27→実施工期H23～H28 着手時B/C=2.9→完成時B/C=8.4
	②事業の効果の発現状況	・保全対象の人家19戸や主要地方道が保全されるとともに、町道崩壊に集落の孤立化の防止が図られた。
	③事業実施による環境の変化	・地形の改変が少なくなるような工法を選択をした。
	④社会経済情勢の変化	・当地区では保全対象及び土地利用状況に変化はない。
	⑤課題と今後の事業への反映	・当区域は湧水を生活水として利用する住民が多く、地下水排除工の実施に際して調整に時間を要した。今後とも事業に影響する関係者との調整を説明会等により積極的に実施し、円滑な事業進捗を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成23年	2.9	193	工事費、調査費	556	人家19戸、市道2,998m
	完成時	平成29年	8.4	253	工事費、調査費	2,116	人家19戸、市道2,998m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。